



# SCX500 SCX550

HYDRAULIC CRAWLER CRANE

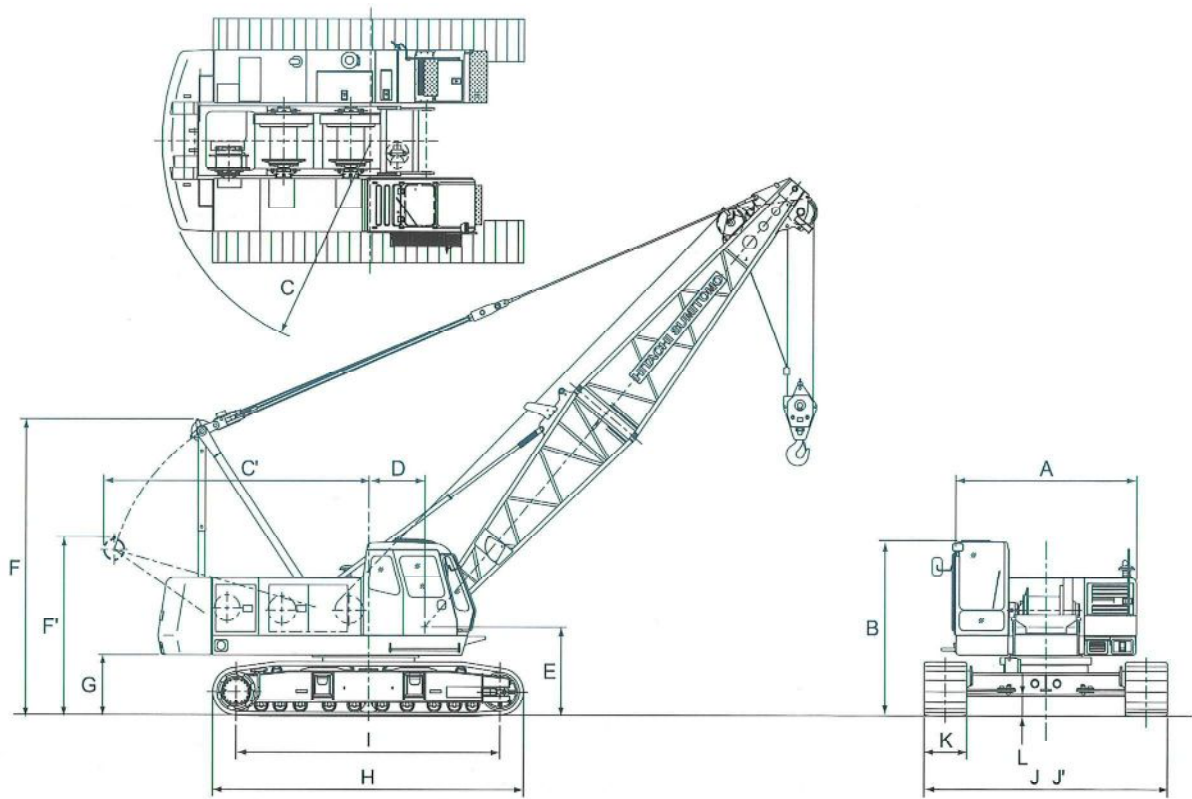


**HITACHI SUMITOMO**



# クローラクレーン

## ■寸法図



## ■寸法

単位：mm

	SCX500-c	SCX550-c
A 上部旋回体幅	3,240	3,240
B キャブ高さ	3,190	3,190
C 後端旋回半径	3,780	3,800
C' 後端距離(低Aフレーム時)	4,750	4,750
D ブームフットピン取付け距離	1,000	1,000
E ブームフットピン取付け高さ	1,590	1,590
F 上部旋回体高さ(高Aフレーム時)	5,320	5,320
F' 上部旋回体高さ(低Aフレーム時)	3,200	3,200
G 上部旋回体後部地上高さ	1,100	1,100
H クローラ全長	5,550	5,550
I タンブラ中心距離	4,710	4,710
J クローラ全幅(拡張時)	4,360	4,360
J' クローラ全幅(縮小時)	3,300	3,300
K シュー幅	760	760
L 最低地上高	360	360



## ■仕様 (SCX500-c)

	クレーン仕様	フルラッピングタワー仕様	コラムシェル仕様	リフティングマグネット仕様	荷役バケット仕様	
つり上げ荷重×作業半径	t×m	50×3.8	11.4×10.3	—	45×3.8	—
バケット容量	m <sup>3</sup>	—	—	0.8 / 1.0 / 1.2	—	0.7 / 1.6 / 3.0
バケット許容グロス質量	t	—	—	6.0	—	6.0
リフティングマグネット径	mm	—	—	—	1,500 / 1,800	—
発電機容量	kVA	—	—	—	20~30	—
基本ブーム長さ	m	10	—	10	13(アングルブーム)	13(アングルブーム)
最長ブーム長さ	m	52	—	19	22(アングルブーム)	19(アングルブーム)
ジブブーム長さ	m	6~15	—	—	—	—
ブーム+ジブ長さ	m	43+15	—	—	—	—
タワー長さ	m	—	22~40	—	—	—
タワージブ長さ	m	—	16~28	—	—	—
タワー+ジブ最長	m	—	40+25	—	—	—
主巻ロープ巻上/下速度*	m/min	100 / 65 / 32	100 / 65 / 32	74 / 37(開閉用)	74 / 37	74 / 37(開閉用)
補巻ロープ巻上/下速度*	m/min	100 / 65 / 32	50 / 32(ジブ巻上/下)	74 / 37(支持用)	74 / 37	74 / 37(支持用)
ブーム巻上/下ロープ速度*	m/min	53	53(タワー巻上/下)	60	60	60
旋回速度	min <sup>-1</sup> (rpm)	4.0 (4.0)	4.0 (4.0)	4.0 (4.0)	4.0 (4.0)	4.0 (4.0)
走行速度* 高/低	km/h	1.7 / 1.4	1.7 / 1.4	2.0 / 1.6	2.0 / 1.6	2.0 / 1.6
登坂能力	度(%)	22 (40)	20 (40)	22 (40)	22 (40)	22 (40)
エンジン名称		いすゞ BB-6HK1T				
定格出力	kW/min <sup>-1</sup> (PS/rpm)	136 / 2,000 (185 / 2,000)				
接地圧	kPa (kgf/cm <sup>2</sup> )	63.7(0.65)	71.1(0.73)	66.7(0.68)	69.7(0.71)	65.7(0.67)
全装備質量	t	49.9 (10mブーム + 50tフック)	55.7 (40mタワー + 25mジブ)	52.6 (10mブーム + 1.2m <sup>3</sup> バケット)	54.6 (13mアングルブーム + φ1,800mmマグネット)	51.8 (13mアングルブーム + 1.6m <sup>3</sup> グラブバケット)

(注)単位は、国際単位系(SI)による表示です。( )内は、従来の単位表示を参考値として併記しました。

\*印は負荷により速度変化します。

## ■仕様 (SCX550-c)

	クレーン仕様	フルラッピングタワー仕様	コラムシェル仕様	リフティングマグネット仕様	荷役バケット仕様	
つり上げ荷重×作業半径	t×m	55×3.7	11.4×10.3	—	45×3.8	—
バケット容量	m <sup>3</sup>	—	—	0.8 / 1.0 / 1.2	—	0.7 / 1.6 / 3.0
バケット許容グロス質量	t	—	—	6.0	—	6.0
リフティングマグネット径	mm	—	—	—	1,500 / 1,800	—
発電機容量	kVA	—	—	—	20~30	—
基本ブーム長さ	m	—	—	10	13(アングルブーム)	13(アングルブーム)
最長ブーム長さ	m	10	—	19	22(アングルブーム)	19(アングルブーム)
ジブブーム長さ	m	52	—	—	—	—
ブーム+ジブ長さ	m	6~15	—	—	—	—
タワー長さ	m	43+15	22~40	—	—	—
タワージブ長さ	m	—	16~28	—	—	—
タワー+ジブ最長	m	—	40+25	—	—	—
主巻ロープ巻上/下速度*	m/min	—	100 / 65 / 32	74 / 37(開閉用)	74 / 37	74 / 37(開閉用)
補巻ロープ巻上/下速度*	m/min	100 / 65 / 32	50 / 32(ジブ巻上/下)	74 / 37(支持用)	74 / 37	74 / 37(支持用)
ブーム巻上/下ロープ速度*	m/min	100 / 65 / 32	53(タワー巻上/下)	60	60	60
旋回速度	min <sup>-1</sup> (rpm)	53	4.0 (4.0)	4.0 (4.0)	4.0 (4.0)	4.0 (4.0)
走行速度* 高/低	km/h	4.0 (4.0)	1.7 / 1.4	2.0 / 1.6	2.0 / 1.6	2.0 / 1.6
登坂能力	度(%)	1.7 / 1.4	20 (40)	22 (40)	22 (40)	22 (40)
エンジン名称		22 (40)	いすゞ BB-6HK1T			
定格出力	kW/min <sup>-1</sup> (PS/rpm)	136 / 2,000 (185 / 2,000)				
接地圧	kPa (kgf/cm <sup>2</sup> )	66.6(0.68)	74.5(0.76)	69.6(0.71)	73.1(0.75)	69.7(0.71)
全装備質量	t	52.3 (10mブーム + 55tフック)	58.0 (40mタワー + 25mジブ)	54.6 (10mブーム + 1.2m <sup>3</sup> バケット)	56.9 (13mアングルブーム + φ1,800mmマグネット)	54.1 (13mアングルブーム + 1.6m <sup>3</sup> グラブバケット)

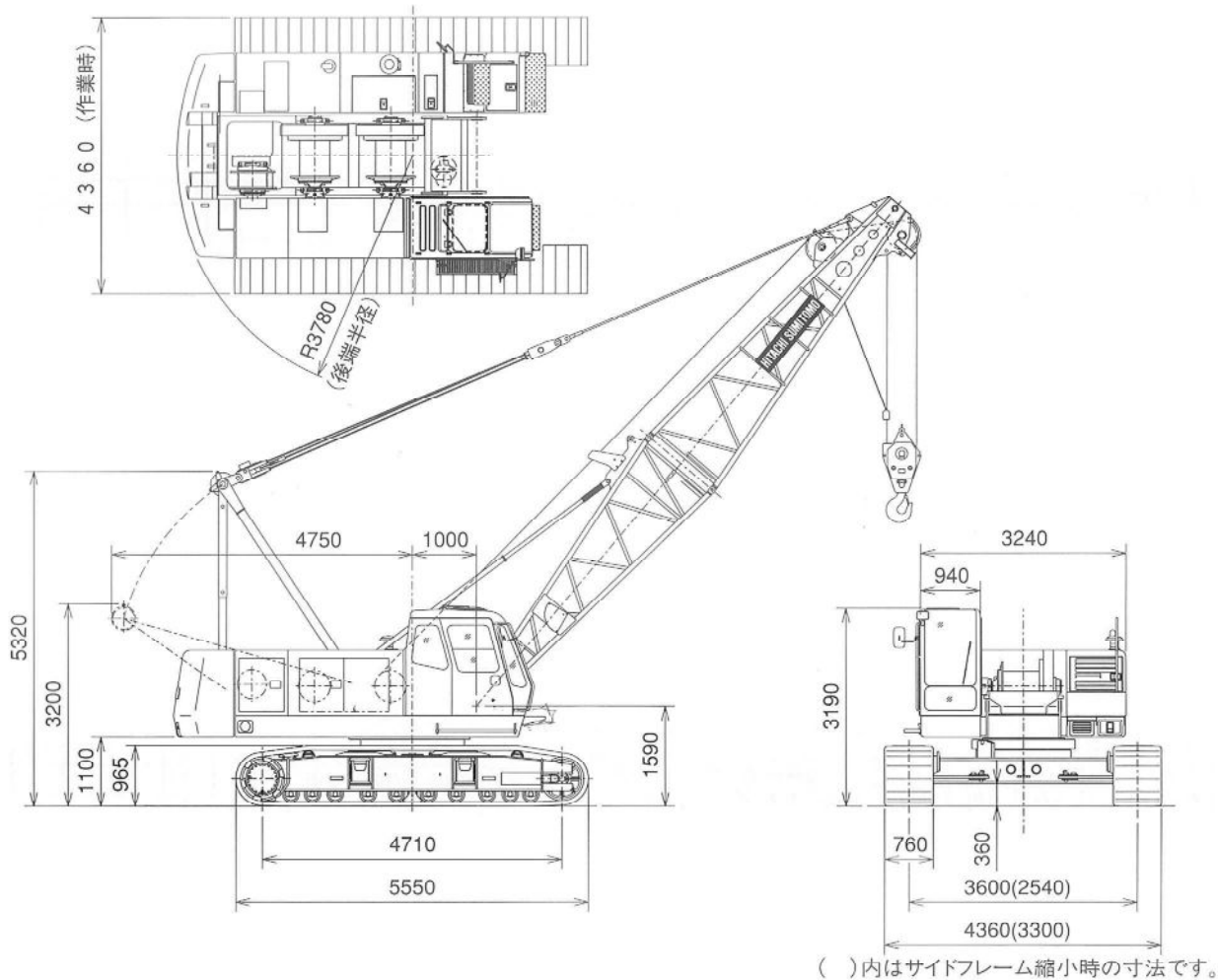
(注)単位は、国際単位系(SI)による表示です。( )内は、従来の単位表示を参考値として併記しました。

\*印は負荷により速度変化します。



## ■寸法図

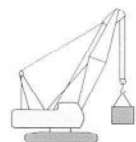
単位:mm



## ■仕様

つり上げ荷重×作業半径	t×m	50×3.8
基本ブーム長さ	m	10
最長ブーム長さ	m	52
ジブブーム長さ	m	6~15
ブーム+ジブブーム最長	m	43+15
主巻ロープ巻上/下速度	m/min	*100/65/32
補巻ロープ巻上/下速度	m/min	*100/65/32
ブーム起伏ロープ速度	m/min	*53
旋回速度	min <sup>-1</sup> (rpm)	4.0(4.0)
走行速度 高速/低速	km/h	1.7/1.4
登坂能力	度(%)	22(40)
エンジン 名称		いすゞ BB-6HK1T
定格出力 kW/min <sup>-1</sup> (PS/rpm)		136/2,000(185/2,000)
接地圧	kpa(kgf/cm <sup>2</sup> )	63.7(0.65)
全装備質量	t	49.9(10mブーム+50tフック)

(注) 単位は、国際単位系(SI)による表示です。( )内は、従来の単位表示を併記したものです。  
\*負荷により速度変化します。



単位：t

■主ブーム定格総荷重表

作業半径 m	ブーム長さ m														
	10	13	16	19	22	25	28	31	34	37	40	43	46	49	52
3.5	50.00	3.8m×50.00t													
4.0	48.05	47.85	4.4m×41.50t												
4.5	40.10	39.80	39.75												
5.0	33.75	33.70	33.60	33.60											
5.5	29.25	29.15	29.10	29.05	28.70										
6.0	25.75	25.70	25.60	25.60	25.50	6.1m×24.80t	6.7m×21.75t								
7.0	20.75	20.70	20.60	20.55	20.50	20.45	20.35	7.3m×19.35t	7.8m×17.30t						
8.0	17.35	17.25	17.20	17.15	17.05	17.00	16.95	16.90	16.80	8.4m×15.65t					
9.0	14.90	14.80	14.70	14.65	14.55	14.50	14.45	14.45	14.30	14.20	14.20	9.6m×13.00t			
10.0	9.8m×12.65t	12.90	12.80	12.75	12.65	12.60	12.50	12.50	12.40	12.30	12.30	12.20	10.1m×11.95t	10.7m×10.70t	11.3m×9.45t
12.0		10.25	10.10	10.05	9.95	9.90	9.80	9.80	9.70	9.60	9.60	9.50	9.40	9.35	9.20
14.0		12.4m×9.80t	8.30	8.25	8.15	8.10	8.00	7.95	7.85	7.75	7.75	7.65	7.55	7.50	7.45
16.0			15.0m×7.60t	6.95	6.85	6.80	6.70	6.65	6.55	6.45	6.40	6.35	6.25	6.15	6.10
18.0				17.6m×6.15t	5.85	5.80	5.70	5.65	5.55	5.45	5.45	5.35	5.25	5.15	5.10
20.0					5.10	5.05	4.95	4.85	4.75	4.70	4.65	4.55	4.45	4.40	4.30
22.0					20.2m×5.05t	4.40	4.35	4.25	4.15	4.05	4.00	3.95	3.85	3.75	3.65
24.0						22.8m×4.20t	3.80	3.75	3.65	3.55	3.50	3.40	3.35	3.25	3.15
26.0							25.4m×3.50t	3.30	3.20	3.15	3.10	3.00	2.90	2.80	2.70
28.0								2.95	2.85	2.75	2.70	2.65	2.50	2.40	2.30
30.0									2.55	2.45	2.40	2.30	2.15	2.05	1.95
32.0									30.6m×2.40t	2.20	2.10	2.00	1.85	1.75	1.65
34.0										33.2m×1.90t	1.80	1.75	1.60	1.50	1.35

〈注〉 1. 上表に示す定格総荷重は、水平堅土上定置荷役における値で、転倒荷重の78%以内、および移動式クレーン構造規格で定める前方安定度1.15以上です。

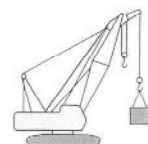
2. 実際につり上げられる荷重は、上表の定格総荷重からフックなどのつり具一切の質量を差し引いた値です。
3. 作業半径とは、荷をついた状態での旋回中心からのつり荷の重心までの水平距離です。
4. 表中の○×○は、作業半径m×定格総荷重tを示します。
5. ジブまたは補助ジブを取り付けた場合、主ブームで実際につり上げられる荷重は上表の値から下表の質量および「主フック+補フック」などの質量を差し引いた値です。ただし差し引いた値が0.8t未満の場合は、作業できません。

ジブ長さ m	6	9	12	15	補助ジブ
差し引く質量 t	0.75	0.90	1.05	1.20	0.30

6. カウンタウエイトの質量は、17.6tです。
7. 作業を行うときは、必ずサイドフレームを規定位置まで拡張してください。

8. 巻上ロープ掛数と定格総荷重の最大値、フックの質量は下表のとおりです。

フック容量 t	フック質量 t	定格総荷重の最大値 t							
		8本掛	7本掛	6本掛	5本掛	4本掛	3本掛	2本掛	1本掛
50.0	0.61	50.0	45.5	39.0	32.5	26.0	19.5	13.0	—
30.0	0.36				30.0	26.0	19.5	13.0	—
15.0	0.32						15.0	13.0	—
6.5	0.18								6.5



単位：t

■補助ジブ定格総荷重表

作業半径 m	ブーム長さ m														
	13	16	19	22	25	28	31	34	37	40	43	46	49		
4.5	4.7m×6.50t														
5.0	6.50	5.2m×6.50t													
5.5	6.50	6.50	5.8m×6.50t												
6.0	6.50	6.50	6.50	6.4m×6.50t											
7.0	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	7.5m×6.50t									
8.0	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	8.1m×6.50t	8.7m×6.50t							
9.0	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	9.2m×6.50t	9.8m×6.50t					
10.0	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	10.4m×6.50t	10.9m×6.50t	11.5m×6.50t		
12.0	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	
14.0	13.5m×6.50t	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	
16.0		6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.45	6.35	6.35	6.25	6.15	6.05		
18.0		16.1m×6.50t	5.85	5.75	5.70	5.60	5.55	5.45	5.35	5.30	5.20	5.15	5.05		
20.0			18.7m×5.55t	5.00	4.95	4.80	4.75	4.65	4.55	4.55	4.45	4.35	4.25		
22.0				21.3m×4.55t	4.30	4.20	4.15	4.05	3.95	3.90	3.80	3.70	3.65		
24.0					23.9m×3.80t	3.70	3.65	3.55	3.45	3.40	3.30	3.20	3.10		
26.0						3.30	3.20	3.10	3.00	2.95	2.85	2.75	2.65		
28.0							26.5m×3.20t	2.85	2.75	2.65	2.60	2.45	2.35	2.25	
30.0								29.1m×2.65t	2.45	2.30	2.25	2.10	2.00	1.90	
32.0									31.7m×2.20t	2.05	1.95	1.80	1.70	1.60	
34.0										1.80	1.65	1.55	1.45	1.30	

〈注〉 1. 上表に示す定格総荷重は、水平堅土上定置荷役における値で、転倒荷重の78%以内、および移動式クレーン構造規格で定める前方安定度1.15以上です。

	フック容量(t)	フック質量(t)
主フック	50	0.61
	30	0.36
	15	0.32
補フック	6.5	0.18

3. 作業半径とは荷をついた状態での旋回中心からのつり荷の重心までの水平距離です。
4. 表中の○×○は、作業半径m×定格総荷重tを示します。
5. カウンタウエイトの質量は、17.6tです。
6. 作業を行うときは、必ずサイドフレームを規定位置まで拡張してください。

■作業範囲図

